

名古屋支部 令和4年度 天子田学区自主防災訓練参加及び 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練実施

名古屋支部（永井弘児支部長）は令和4年度 天子田学区自主防災訓練に参加し、災害廃棄物仮置場設置・運営訓練を行いました。

- 日 時：令和4年7月24日（日）
午前9時30分～
- 場 所：天子田小学校（名古屋市守山区）
- 参加者：守山区役所、守山消防署、上下水道局東部営業センター、守山環境事業所、環境局事業部作業課、環境局施設部施設課、災害対策委員（区政協力委員）、各町内組長、学区連絡協議会、天子田学区消防団、（一社）愛知県産業資源循環協会 名古屋支部



天子田学区区政協力
委員長 長谷川好嗣氏

挨拶する
宮治連絡協議会会長

挨拶する守山区役所
防災担当富樫主査



発災時の災害廃棄物をどのように
処理をするのかパネルで解説

給水栓の役割を説明し、試薬を使っ
て飲用できるか検査方法を見せる



災害時における仮設トイレの組立
と説明を行う

防災倉庫に何が格納されているのか
説明し、発災時の利用について話す

令和4年度 天子田学区自主防災訓練が、行政及び関係部署や学区関係団体により行われ、その中で名古屋支部は「災害廃棄物仮置場設置・運営訓練」を、同小学校グラウンドにて行いました。

開催にあたり体育館にて開会式が行われ、天子田学区連絡協議会会長 宮治久仁旺氏が開会挨拶を述べ、次に守山区役所区政部総務課防災担当主査 富樫 穰氏が防災訓練についての概要を述べ、関係者の挨拶・紹介等の後、グラウンドにて「防災倉庫確認」、「仮設トイレ組立」、「地震体験」、「地下式給水栓」、「ごみの仮置場」について、参加者の方へ、発災時における各用具の使い方等を啓発しました。

なお、発災時には小学校のグラウンドが仮置場になることはありませんが、今回は住民啓発も兼ねて、小学校のグラウンドで実施しました。

名古屋支部 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練

◎参加者18名

【名古屋市】

名古屋市環境局事業部長 鬼頭秀一氏、始め8名

【名古屋支部】

永井良一会長（永一産商（株））、永井弘児支部長（永一産商（株））、浅井明利副支部長（（有）浅井商店）、新美三良委員（（有）三洋サービス）、西山幸光委員（（株）西山商店）、小野島常夫委員（ヤマケン（株））、山本浩也委員 及び 入野智樹オブザーバー（（株）ダイセキ環境ソリューション）

【（一社）愛知県産業資源循環協会 事務局】

堀部隆司専務理事、小坂元信事務局長

◎協力車両

普通車5台、軽トラック1台、2tクレーン車1台

◎仮置場設置・運営訓練開始

1) 訓練内容の最終確認

- ・集合場所であるテント内で行政の方を交えて、訓練における役割、手順を確認。グラウンド内での安全走行厳守の通達。

2) 仮置場設置（資機材設置等）

- ・レイアウト図^{*1}を基に、品目看板（リサイクル家電、畳、木くず、土砂、布団等の名称を記載）を設置

名古屋支部仮置場設置・運営訓練の様子



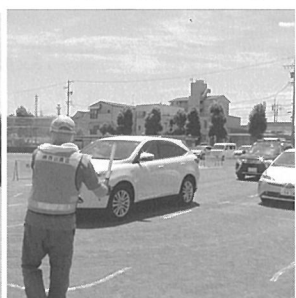
仮置場レイアウト図^{*1}を基に種類ごとに災害廃棄物の置場を設定



グラウンドに設置されたテント内で訓練の打ち合わせを行う



仮置場に入る車両は、受付係の確認後、入場の誘導指示を待つ



仮置場に入る車に、安全かつ速やかに誘導指示を出す



持ち込んだ仮想災害廃棄物を品目別に指定の場所に置く



天子田小学校グラウンドの仮置場レイアウト図^{*1}



仮置場にて廃棄物を降ろした車の安全な走行を確認し、指示を出す永井会長



行政の方々に仮置場の訓練の進捗状況を伝え、今後の展開を話される永井会長



永井会長が運搬車両を運転され、場内の災害廃棄物を回収するデモンストレーションを行う

- ・搬入車両の通路を区別して、順路を白線で引き、ブルーシートで廃棄物を置く場所を設置

3) 災害廃棄物の受付・受け入れ

- ・搬入経路の確認
- ・分別搬入を優先して受け入れるファストレーン方式を実施し、混載との荷下ろしの時間差を確認

4) 災害廃棄物の搬入・積み下ろし

- ・冷蔵庫や畳、布団等の各名称を段ボール箱（仮想災害廃棄物）に明記し、仮想災害廃棄物として使用
- ・支部会員数名が普通車両及び軽トラックに乗り、段ボール箱を積み込み、品目看板前で車両を止め、段ボール箱を置く

5) 災害廃棄物の搬出

- ・2tクレーン車は各品目看板前に置かれた段ボール箱を回収する

※訓練終了後は関係者全員で、落下物の確認、車両誘導等の白線を消すなどグラウンドの整備をして閉会となりました。

これまで千曲市災害廃棄物処理など多くの災害廃棄物処理に関わらせていただき、“初動が命”であることを一番理解しています。被災地において、いち早く仮置場の設置・運営に取り掛かり、搬入された災害廃棄物を効率的に処理し、かつリサイクル率を高めることが重要課題です。本日の訓練で、搬入受付時での対応、搬入車両が多数押し寄せた時の対応、発災時における想定外の状況等の対策についても気づくことができました。また、地域の防災訓練ということから、行政関係者の方々、地域住民の方々にも仮置場の運営の様子を見ていただけたこと、発災時に役立てていただける機会となりました。本訓練の成果は、今後愛産協全体で情報共有し、より現場に即した仮置場の設置・運営の計画案として提案させていただければと考えています。

支部長・永井弘晃



テント内で最終確認の指示をする永井支部長



仮置場設置・運営訓練に参加された行政の方々と名古屋支部の皆様